

知られざる青梅の魅力を訪ね歩く——「青梅うんちく散歩」(2012年初春)

# 青梅宿の段下エリア+万年橋+畑中を歩く 大柳の渡し&万年橋の位置づけを再認識!

- 散歩の日：2月25日(土)
- 集合場所：JR 青梅駅前
- 集合時間：午前 10時30分
- 参加費用：1,700円 (※食事代、保険料、資料代を含みます)
- 募集定員：25人 (最少催行人数：5人)
- 応募締切：2月23日(木)

青梅の段下エリアは、江戸時代以前は、金剛寺へとつながるメインルートでした。また、御嶽山への参詣路は、「大柳の渡し」を経て畑中を通るのが正規のコースであったとも考えられています。そして、その大柳の渡しに架けられたのが、地元の方々の熱い要望を受け、青梅で最初に多摩川に架けられた橋、「万年橋」(現・万年橋)です。昼食後にはオプションで、釜の淵エリアのご案内も！ どうぞお楽しみに。

## ■今回の散歩コース

- (10:30) 集合・出発! ~ 「<sup>ちょうや</sup>帳屋横丁」と「大横丁」
- (11:15) ▼ 景勝地、滝ノ上の地名となった滝はどこ? 「常保寺」と「美術館」
- (11:45) ▼ 青梅の古い道筋が窺える存在「<sup>おいどめいど</sup>男井戸女井戸」
- (12:15) ▼ 架橋は地元の悲願。青梅にとっては非常に重要だった「万年橋」
- (12:45) ▼ 文化財の山門と宝珠梅。七福神のお寺「地蔵院」
- (13:30) ▼ 敷地内に縄文遺跡も残る「かんぽの宿」で昼食
- (14:30) 食後、現地にて解散

※このあと、希望者には「釜の淵」エリアをご案内

※記載の時刻は、おおよその目安時間です。  
※歩く距離は、トータルで4kmほどになる見込みです。  
※散歩コースの内容は、事前に告知をすることなく変更になる場合があります。

## ◆注意事項

- ・散歩がしやすい靴や服装でご参加ください。
- ・冬の散歩で、かつ、川沿いも歩きますので、十分な防寒対策をお願いします。
- ・眼鏡、筆記用具、デジタルカメラなどは各自でご用意ください。
- ・現地までの交通費、お土産代等は各自のご負担となります。



↑地蔵院は多摩青梅七福神のお寺



↑市内で多摩川に最初にかけられた橋「万年橋」

★お申し込みはお電話で!

**0428-24-5364** または **080-3171-4071 (大倉)**

- ・お電話にて、参加者のお名前、連絡先等の必要事項をお伝えください。
- ・当日に荒天が予想される場合や、応募が最少催行人数に達しなかった場合などには、中止となります。中止の際には、参加申込者には、前日(2月24日)の夕方頃までに電話にてご連絡いたします。
- ・参加費用は当日、集合場所にて徴収いたします。できるだけ釣り銭の要らぬよう、お願いします。

主催：NPO 法人 青梅まちづくりネットワーク